

主要経済指標等 (2012年)

●人口	34万人
●GN I 総額	17.43億ドル
●GN I 一人あたり	5,430ドル
●経済成長率	1.3%
●失業率	11.3%
●対外債務残高	10.27億ドル
●援助受取総額 (支出純額)	0.58億ドル
●DAC分類	高中所得国
●世界銀行分類	iii/高中所得国

出典) WDI (世界銀行) 等。詳細は解説参照

表-1 我が国の対モルディブ援助形態別実績 (年度別)

(単位: 億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2009年度	—	13.40	2.86(2.83)
2010年度	—	3.00	1.95(1.93)
2011年度	—	2.50	1.65(1.63)
2012年度	—	0.12	1.68(1.64)
2013年度	—	2.40	1.14
累 計	27.33	279.54	67.83(67.20)

※脚注参照

ミレニアム開発目標 (MDGs) 代表的な指標

	過去データ	最新データ
●目標1: 1日1.25ドル未満で生活する人々の割合	25.6%(1998)	1.5%(2004)
●目標2: 初等教育における純就学率	97.8%(1999)	94.6%(2011)
●目標3: 初等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率 (男子を1とした時の女子の人数)	1.00人(1992)	0.98人(2011)
●目標4: 5歳未満児の死亡数 (1,000人あたり)	94.0人(1990)	10.5人(2012)
●目標5: 妊産婦の死亡数 (出生児10万人あたり)	430人(1990)	60人(2010)
●目標6: 15~49歳のHIV感染率 (100人あたりの年間新規感染者数の推定値)	—	0.01人(2011)
●目標7: 改良飲料水源を継続して利用できる人口の割合	93.2%(1990)	98.6%(2011)

出典) Millennium Development Indicators (The Official United Nations Site for the MDG Indicators)

モルディブに対する我が国ODA概要

1. 概要

モルディブに対する我が国の経済協力は、小規模島嶼国であるという地形的特殊性から生じる同国の社会経済開発上の困難性に配慮し、1970年代からの漁業分野の無償資金協力で始まり、1980年代からは食糧援助や小学校建設支援等の無償資金協力を実施するなど、国民生活の安定・向上に資する分野を対象に無償資金協力および技術協力を実施してきた。2006年6月には、同国に対して初めての有償資金協力を開始した。

2. 意義

モルディブは伝統的に我が国と友好関係にあり、国際場裡の多くの場面で我が国の立場を支持するなど極めて協力的である。また、我が国シーレーン上に位置しており、地政学的な重要性を有することから、モルディブとの良好な関係を維持することには意義がある。

3. 基本方針

小規模島嶼国であることから生ずる、気候変動による海面上昇や自然災害に対する脆弱性等、経済・社会開発の困難性に配慮しつつ、同国が持続的に経済を成長させ、更なる社会経済的發展を実現できるよう支援することを基本方針とする。

4. 重点分野

- (1) 地場産業の育成: モルディブは観光業に大きく依存しているが、経済状況が外的要因 (主要先進国の景気動向等) に左右される脆弱な構造であることから、観光産業の更なる発展とともに漁業をはじめとする開発ポテンシャルの高い産業の育成を支援し、外的要因の影響に強靱な経済構造を築く。
- (2) 環境・気候変動・防災: 多くの小環礁島から構成されるモルディブは、気候変動による海面上昇や津波等の自然災害に対し脆弱であり、また、環境の悪化による生活環境や主要産業への悪影響なども想定されることから、気候変動への対応、持続可能なエネルギー利用の促進、廃棄物処理などの分野への支援を重点的に行っていく。

※注) 1. 年度の区分および金額は原則、円借款および無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2009年~2012年度の技術協力においては、日本全体の技術協力の実績であり、2013年度の日本全体の実績については集計中であるため、JICA実績のみを示している。

() 内はJICAが実施している技術協力の実績および累計となっている。

表－2 我が国の年度別・形態別実績詳細（表－2の詳細）

(単位：億円)

年 度	円借款	無償資金協力	技術協力
2011 年度	な し	2.50 億円 ・ノン・プロジェクト無償(1 件)(2.50)	
2012 年度	な し	0.12 億円 ・草の根・人間の安全保障無償(1 件) (0.12)	
2013 年度	な し	2.40 億円 ・ノン・プロジェクト無償(1 件)(2.00) ・草の根・人間の安全保障無償(2 件) (0.40)	
2013 年度 までの累計	27.33 億円	279.54 億円	67.83 億円(67.20 億円) 研修員受入 1,092 人 専門家派遣 78 人

注) 1. 表－1 注釈同様

2. 技術協力においては、2011 年度以降に開始され 2013 年 4 月の時点で継続中の技術協力プロジェクト案件のみを掲載している。案件の〔 〕内は、協力期間。

モルディブ

表－3 我が国の対モルディブ援助形態別実績（OECD/DAC 報告基準）

（支出純額ベース、単位：百万ドル）

暦 年	有償資金協力	無償資金協力	技 術 協 力	合 計
2009 年	5.73	9.87	2.38	17.99
2010 年	19.56	14.81	2.93	37.30
2011 年	2.24	－	2.34	4.57
2012 年	0.44	3.13	2.00	5.57
2013 年	－	0.12	1.15	1.27
累 計	29.16	229.66	63.35	322.12

出典）OECD/DAC

- 注）1. 国際機関を通じた贈与については、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することとしている。また、OECD/DAC事務局の指摘に基づき、2011年には無償資金協力を計上する国際機関を通じた贈与の範囲を拡大した。（ ）内は、国際機関を通じた贈与の実績（内数）。
2. 有償資金協力および無償資金協力は、これまでに交換公文で決定した約束額のうち当該暦年中に実際に供与された金額（有償資金協力については、モルディブ側の返済金額を差し引いた金額）。
3. 有償資金協力の累計は、為替レートの変動によりマイナスになることがある。
4. 技術協力は、JICAによるもののほか、関係省庁および地方自治体による技術協力を含む。

表－4 諸外国の対モルディブ経済協力実績

（支出総額ベース、単位：百万ドル）

暦 年	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	うち日本	合 計
2008 年	日本 9.32	オランダ 5.90	オーストラリア 2.34	カナダ 0.85	韓国 0.57	9.32	20.76
2009 年	日本 17.98	デンマーク 7.37	オーストラリア 1.71	カナダ 0.63	ニュージーランド 0.50	17.98	29.05
2010 年	日本 37.31	デンマーク 11.40	オーストラリア 4.95	米国 0.95	フランス 0.94	37.31	57.12
2011 年	デンマーク 9.39	日本 4.57	オーストラリア 4.13	フランス 1.48	カナダ 0.55	4.57	22.05
2012 年	オーストラリア 9.00	日本 5.57	フランス 3.15	ドイツ 0.74	米国 0.52	5.57	20.66

出典）OECD/DAC

表－5 国際機関の対モルディブ経済協力実績

（支出総額ベース、単位：百万ドル）

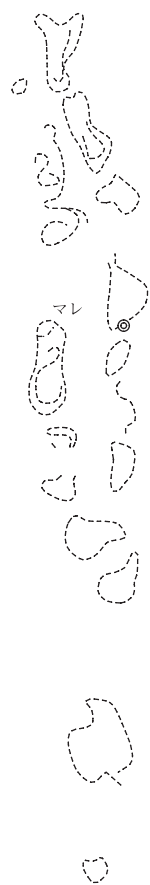
暦 年	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	そ の 他	合 計
2008 年	IDA 4.20	ADB Sp. Fund 3.05	EU Institutions 1.15	UNDP 0.69	UNFPA 0.51	0.45	10.05
2009 年	ADB Sp. Fund 5.84	IDA 5.75	EU Institutions 3.77	Isl.Dev Bank 1.96	IMF-CTF 1.58	2.78	21.68
2010 年	ADB Sp. Fund 25.92	IDA 17.24	EU Institutions 5.62	Isl.Dev Bank 1.84	IMF-CTF 1.56	4.40	56.58
2011 年	ADB Sp. Fund 7.06	IDA 6.47	Isl.Dev Bank 4.21	OFID 2.72	IFAD 1.68	3.90	26.04
2012 年	ADB Sp. Fund 20.01	IDA 7.64	EU Institutions 4.71	Isl.Dev Bank 1.47	GEF 1.26	6.13	41.22

出典）OECD/DAC

注）順位は主要な国際機関についてのものを示している。

表－6 2013 年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件

案 件 名
ディフシ島太陽光発電設備整備計画
南ハバドゥー環礁におけるゴミ処理システム構築を通じた環境及び保健衛生向上計画



〈全国対象プロジェクト〉
● 中小企業ノン・プロジェクト無償資金協力(13)
● 被災地ノン・プロジェクト無償資金協力(11)